

大規模災害協定に基づく連絡会（大島ブロック）議事録

場所 : 大島支庁 四階大会議室

期日 : 令和 7 年 5 月 15 日 (木) 13:30~14:10

参加者 : 大島支庁建設部 佐多 悦成 建設部長
池水 清人 建設課長
国枝 徹 技術補佐
谷口 徳哉 技術補佐兼道路維持係長
石野 孝樹 河川港湾第一係長
茂谷 紀博 河川港湾第二係長
田原 孝志 技術調整係長
村田 智博 技術専門員
圖師 潤美 土木技師

大島支庁瀬戸内事務所建設課

松里智一郎 建設課長
晶納 克喜 技術主幹兼道路第一係長

大島支庁喜界事務所建設課

瀬戸山智幸 建設係長

大島支庁徳之島事務所建設課

妙見 崇 建設課長

大島支庁沖永良部事務所建設課

倉園 久司 建設課長

測量設計業協会

福田 真也 副会長

連絡責任者（正）(株)久永コンサルタント 福留 勝
岩木 哲平
連絡責任者（副）(株)国土技術コンサルタンツ 安永信一郎
西澤 謙二

会議資料

大島支庁より

1. 名簿
2. 災害支援協力のフロー図
3. 令和 7 年度の連絡体制（大島支庁）
4. 大島支庁管内の公共土木施設等の状況
5. 災害協力の範囲及び災害時の被害状況調査の内容（協定書・実施要領・留意事項）

測量設計業協会より

1. 大規模災害時における被害状況調査の支援協力に関する協定（経緯）
2. 災害支援協力のフロー図
3. 令和 7 年度の大島ブロック連絡体制（鹿児島県測量設計業協会）

議事録

1.開会挨拶

佐多悦成 大島支庁建設部長 挨拶

福田真也 測量設計業協会副会長 挨拶

2.資料の説明について

2.1 大島支庁資料（大島支庁）

- ・各資料の説明をいただく。
- ・災害支援協力のフロー説明
- ・各事務所の情報連絡網・土木施設の状況の説明

調査実施にあたっては調査を行う業者と県担当職員でやりとりをすることになる。情報共有、連絡、報告を十分行いながら進めていただきたい。

2.2 協会資料（測量設計業協会）

- ・資料の説明

3.質疑応答ほか

【支庁より】

- ・実際に災害が発生した場合、どのようなスケジュールで動き出すのか。

【測量協会より】

- ・令和5年度の瀬戸内事務所での災害対応について説明。
- ・連絡を受けた当日に瀬戸内事務所へ行き、打ち合わせすることができた。
- ・参加企業各社に担当の割り振りを行い、早い企業では、2日後から現地の調査を開始している
- ・調査結果は、1週間以内で報告している。
- ・その他の離島については、交通の手配が出来次第、伺う。

【事務局より補足】

- ・記録では、6月22日に連絡、23日から調査を開始し、27日に報告を受けている。

【測量協会より】

- ・総合評価落札方式において、災害支援協力が加点となるため、参加する企業が多い。調査箇所が少ない場合、協会内での割り振りが今後の課題となる。

【測量協会より】

- ・DX災害査定について、対応可能でしょうか。

【支庁より】

- ・設備は整えているが、査定をするまでは進んでいない。
- ・大島支庁・瀬戸内事務所に360°カメラはある。

【測量協会より】

- ・台帳について電子化はされているのでしょうか。

【支庁より】

- ・道路・河川については tif データ化している。それ以外は紙ベースである。

【測量協会より補足】

- ・令和 5 年度の瀬戸内事務所での災害では、建設技術センターより、翌日に受領している。